鋤柄 増根 教授 教育学修士

Masune Sukigara

⊠ masune.sukigara@komatsu-u.ac.jp

研究 Keyword

心理測定法、心理検査、項目反応理論、気質、発達

プロフィール

1978年 名古屋大学大学院 教育学研究科 博士前期課程 修了

1981年 金沢医科大学 医学部 講師

2000年 名古屋市立大学 教授

2019年 公立小松大学 保健医療学部 看護学科 教授

研究分野 心理学

所属学協会

日本心理学会、日本教育心理学会、日本神経心理学会、日本パーソナリティ心理学会、 日本行動計量学会

専門分野·研究分野

パーソナリティ特性、感覚の大きさ、好みなど さまざまな心理量を測定する心理測定

心理学の研究には、その研究対象である心理量の測定が不可欠である。心理量には、何らかの刺激によって引き起こされるもの(視覚・味覚などの感覚量や好みなど)と、その個人の特性(その代表的なものがパーソナリティ特性)があり、特に個人の特性の測定は個人差研究に必須のものである。いずれも、物理量(長さや質量など)のように直接見ることができないので、この心理量を測定するには多くの工夫が必要である。このような心理量を測定する研究

領域が、心理測定であり、図1に見るように、「こころ」の世界という目に見えない世界が、現実の世界に観察可能なもの(心理学の場合は行動)として現れる。このよりにでであり、と対応付けることが心理測定である。このように心理量を測ることは、臨床診断、教の理を測ることは、臨床診断、教の対策である。このはりに心理量を測ることは、臨床診断、教の対策である。というにとって快適な環境を影響の評価などの現実社会へ大きな貢献につながるものである。

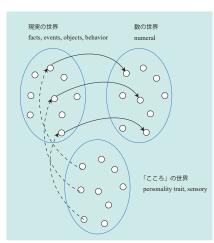


図1 心理測定のモデル

研究内容

パーソナリティ検査の結果を歪める 反応の偏りの測定とそのモデル化

心理測定において、「こころ」の世界と現実の世界との対応には、何らかの偏りが入ることが多い。特に、パーソナリティ検査では、自分をよく見せかけようとしたり、悪く見せようとする反応の偏りが、その検査結果を歪めてしまう。特に意図的ではないが、検査項目への回答は受検者の属している文化や時代の規範や価値観の影響を受ける。これが社会的望ましさの影響である。この影響の評価については古くから検討されており、我々のグループが改訂した新日本版 MMPI (Minnesota Multiphasic Personality Inventory) がこの検討では有名である。その他のパーソナリティ検査であっても同様であるが、この影響は発達的にいつごろから現れてくるのか、個人の特性によって社会的望ましさの大きさは異なるのではないかなど、解決されていない問題は多い。項目反応理論という新しい心理測定の考え方を適用してこれらの問題を解決しようとしている。さらに、社会的望ましさをパラメータとして入れた測定モデルの構築も試みている。



シーズ・地域連携テーマ例

- 心理検査の開発
- 教育現場でのストレスマネジメントなどの教育実践の効果測定
- 教育評価

論文

- Equivalence Between Computer and Booklet Administrations of New Japanese Version of the MMPI. Sukigara, M, Educational and Psychological Measurement, 56, 570-584, 1996
- 項目反応理論によるMMPIの潜在特性構造の分析, 鋤柄増根, 性格心理学研究, 6, 95-108, 1998
- Evaluation of diagnostic criteria for panic attack using item response theory: Findings from the National Comorbidity Survey in USA. letsugu,T., Sukigara, M. & Furukawa, T. A., Journal of Affective Disorders, 104, 197-201, 2007
- Development of a Japanese Version of the Early Childhood Behavior Questionnaire (ECBQ) Using Cross-Sectional and Longitudinal Data. Sukigara, M., Nakagaw, A., & Mizuno, R., Sage Open, Vol. 2015 DOI: 10.1177/2158244015590443. 2014
- こころのスキルアップ教育が新入生に及ぼす影響—Q-U を用いた中学校での探索的研究— 中野有美・鋤柄増 根・志村尚理・中川敦夫・大野裕 教育心理学研究, 68, 66-78, 2020

書籍等出版物

- 看護心理学 1章「こころ」を研究する目的、2章「こころ」を測る、鋤柄増根(編著)、ナカニシヤ出版、2013年
- 学校教育の心理学 3章「発達のプロセスを知る」, 梶田 正尺(編), 鋤柄増根

講演・口頭発表等

社会的望ましさが心理検査に影響しだすのは何歳からか?鋤柄増根、日本心理学学会第82回大会、2018年9月

競争的資金等の研究課題

- パーソナリティ検査において交互作用する社会的望ましさをとらえる,科学研究費補助金(基盤研究C) 25380883
- パーソナリティ検査における社会的望ましさの影響は 何歳から始まるか、科学研究費補助金 (基盤研究C) 16K043716
- ディープラーニングによる心理検査における妥当でない回答の検出 科学研究費補助金(基盤研究C一般) 21K03110

社会貢献活動

- 名古屋教育委員会、子ども応援委員選考 (2013年-2019年)
- 名古屋市こども応援委員会 いじめ予防教育の効果検証 (2015年-2019年)